

区自治協議会提案事業 事業評価書

西区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	<p>支え合いの大切さ普及 【事業費予算 500 千円】</p>
事業目的・概要	<p>西区民が現在「支え合い」についてどのような意識をもっているのか現状を把握し、効果的な手法で支え合いの大切さを多くの西区民に広めることで、いざという場面で能動的に支え合いを行える人を増やす。次年度に効果的な手法で事業を実施するために、実態把握調査を行う。</p>
<p>事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)</p>	<p>①「支え合いに関するアンケート調査」 対象者 : 西区内に在住・在勤、西区に関わりのある方 設問数 : 12問 回答期間: 令和4年7月29日～令和4年10月14日 回答数 : 2,704名</p> <p>②「支え合い」に関するワークショップ 日時 : 令和4年10月29日 参加者数 : 25名 ワーク内容: ①支え合いについて自分が行動できた経験・行動できなかった経験について話し合う ②「支え合い」を広めるために、西区で実現してほしいアイデアを考える</p>
<p>事業の評価</p> <p>（地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など）</p>	<p>【地域課題の抽出方法とその解決策】 平成30年1月の大雪を機に、地域での支え合いの大切さが再認識され、普段からこのことを意識してもらうきっかけとして標語を募集した。標語を用いた啓発活動を昨年度行い、より広く多くの方に「支え合いに大切さ」を考えてもらう事業を検討するにあたり、まずは現在の西区における「支え合い」に関する認識を把握することとした。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケートの回答について、各委員が自身の所属団体等に回答を依頼することで、幅広い年代の回答が集まった。また西区内における中学校にタブレットを用いてWEB回答を依頼することで、多くの回答を回収することができた。 アンケートを行うことで、全年代において「支え合いは大切である」という意識はもっているが、50代以下の世代においては、普段の生活において支え合いながら生活できているかという設問に対し、できていないという回答も多く見受けられた。 ワークショップにおいては、参加者を第2部会各委員の所属団体等に声をかけてもらうことで様々な年代・職種の方に参加していただくことができた。 ワークショップ参加者からも、当日の内容について「とても満足した」「どちらかという満足した」の声が9割を超えており、充実した事業となった。 西区において実現してほしい「支え合い」に関するアイデアについて、「毎月【5】がつく日は【ご】あいさつ感謝デー」と設定し、支え合いのきっかけとなるあいさつを広く実践するなど魅力的なアイデアを得ることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケートの回答やワークショップ参加者を依頼する際、働き世代(20代～50代)へのアプローチ方法があまりなく、事業参加者において多少年代に偏りが発生した。
備考	